

資料 2

札内川の望ましい姿について

札内川懇談会（第2回資料） 平成24年6月7日

河川文化の継承←

「札内川の望ましい姿」

→地域活性化

地域住民・地域関係者等

具体的な活動

地域住民・地域関係者等

具体化の検討・取捨選択

アイデアの分類

札内川懇談会

自治体

地域産業者

北海道～総合振興局

有識者・研究者

教育関係者

利用者団体

国～開発局

自然保護団体

環境教育や体験活動の場

ゴミの無い札内川

水質向上

環境保全

ケシヨウヤナギの更新

(連続性)
魚のための川づくり

自然が担ってきた
攪乱機能の回復

親水活動の場

川文化を継承できる姿

みんなで知恵を出し合う

第1回懇談会より
キーワード

望ましい姿「ポイント」（たたき台）

◆第1回札内川懇談会のご意見や要望等より集約、「札内川の望ましい姿」について、ポイントをまとめました。

1. 日高山脈をバックに広い礫河原を網状に蛇行する流れ（特有な景観）
2. ケショウヤナギをはじめ、イカルチドリ、セグロセキレイ、カワラバツタ等の礫河原を更新地とする動植物が生息できる環境（自然環境）
3. 「川狩り」に象徴されるように、流域の住民にとって愛着あるかけがえのない水辺（文化・親水性）
4. 川のダイナミズムを継承し、ワイルドに川を利用
5. 日本有数の清流札内川の象徴「水質向上」「ゴミ不法投棄の防止」川を大事にする文化を育成（川に学ぶ）
6. 豊かな水生生物の生息、ヤマメやイワナが棲める川
7. 河原や河畔林を舞台に環境学習や体験活動を実施し、地域を通じて子どもたちが水難事故に遭わないような危機管理の教育
8. 治水安全を確保して自然と共生するための「地域とのつながり」を継承
9. 十勝川・札内川の連続河畔林（樹林の帯）を保全し緑のネットワークを形成
10. 流域の豊かな観光資源とグリーンツーリズム等の体験型観光と川づくりから地域を発展（観光）
11. 川の状況変化に応じた順応的な管理を、地域とともに連携